

日刊 勤労千葉

85. 10. 2
No.2053

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七・二二（七）一〇七

訪朝報告(上) 山口敏雄

日朝友好千葉県労連訪朝団に参加して



9月6日 平壤空港に着いた訪朝団を少女が花束で迎えてくれた。(左・四人目が井原団長、右端が筆者)



ホテルからながめた平壤市街。柳の緑と澄んだ水のむこうに高層ビル街がかすんでいる。

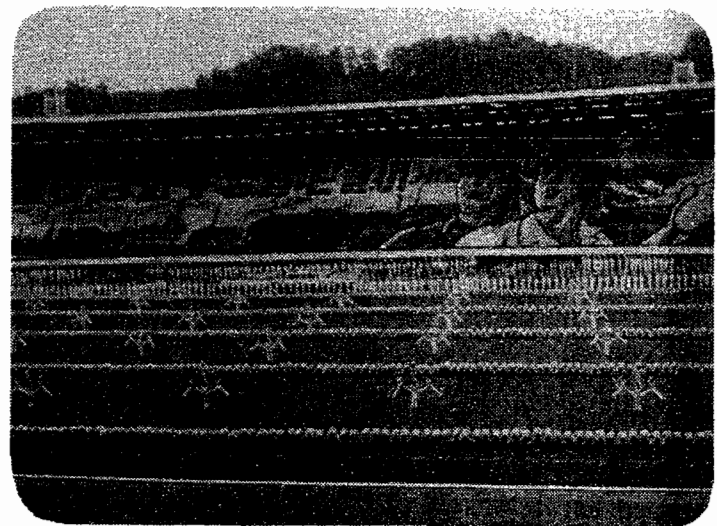
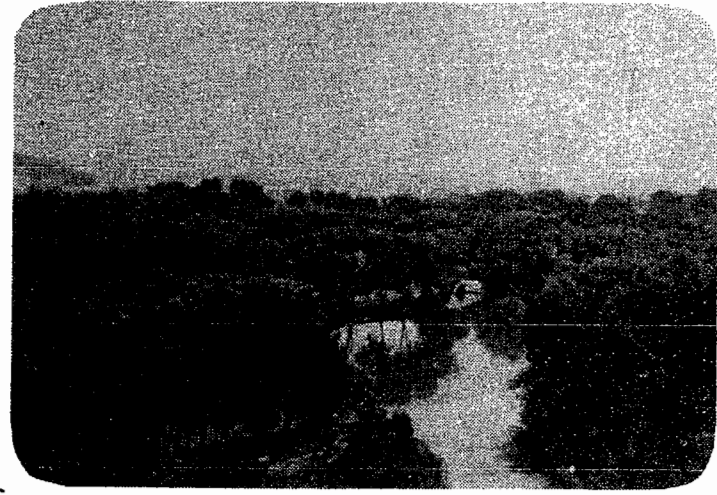
九月四日から十八日まで、第一回日朝友好千葉県労連訪朝団の一員として、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を訪問してきました。今回の訪朝は朝鮮民主主義人民共和国の職業総同盟(一六〇万で組織する労働団体)の招待によって行われ、平壤市内を中心に政治・経済・文化のあらゆる分野で社会主義建設に向けて前進している姿を見てきました。今後、自分なりに精一杯経験を勤労千葉の運動のなかで生かして行きたいと考えています。

今回の訪朝団の送り出し、また、多額のカンパ、その他の御助力を寄せられた全組合員みなさんに紙上をかりて、心からお礼を申し上げ、若干の報告をして行きたいと思えます。

北京經由で三日がかりの入国

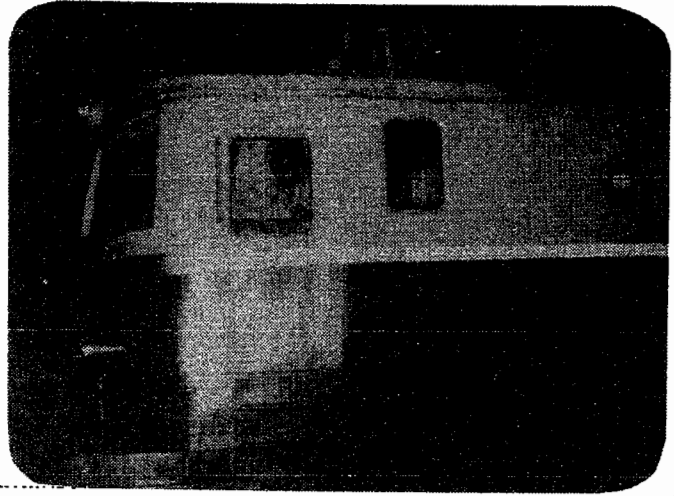
第一回県労連訪朝団は、井原団長(県割労連議長)以下県労連傘下の各単産の各分級役員九名で構成され、平壤市内を中心「に国会議事堂をはじめとする社会主義建国設の成果展示館、競技場、学校・幼稚園、病院、そして一日に一万二千人が勉強することができる人民大習堂、などを訪問し、交流・見学を行うとともに、北南の緊張がまだまだ続いている軍事分界線となつて板門店の見学を行いました。

朝鮮民主主義人民共和国に入国するためには、日本との国交がないために、中国の北京にある外務省で旅券の申請と交付を受けなければならず、そのために北京市内に二泊しなければなりません。



▲ 9月9日、第37回創立記念祭を見学。1万人によるマスゲームと人文字・絵。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ



▲ 社会建設の主役 鉄道労働者とE.L.

全勤労者が一日二時間以上勉強極めて短い日数の中での交流でありましたが、その中で第一に感じたことは、社会主義建設のために教育に重点がおかれている事、そして勤労者が勤めが終つた後、勉強のできる施設が完備されていることです。そして公園のベンチやバス停で夜遅くまで本を読んでいる労働者の姿を見ることができました。

勤務者は、専門学校卒業の知識を得るために毎日二時間以上の勉強に各々が真剣に努力をつみ重ねている姿に強く心を動かされました。(つづく)